

METAVERSE JAPAN SUMMIT 2025 / XR Kaigi Hub in 大阪 参画企業について(順不同)

南海電気鉄道株式会社

南海電気鉄道株式会社は、日本初の純民間資本による鉄道会社として今年創業 140 周年を迎えます。

「NANKAI グループ中期経営計画 2025-2027」では、未来探索の分野において e スポーツ事業に一層注力し、中長期的な収益基盤の構築に向けてユーザーとの関係性の強化を図りながら、WEB3.0 領域も見据えた事業展開を進めています。

〈南海電気鉄道株式会社 代表取締役社長兼COO 岡嶋 信行よりコメント〉

南海電鉄は、「METAVERSE JAPAN SUMMIT 2025」及び「XR Kaigi Hub in大阪」に関西特別パートナーとして参画させていただけることを光栄に存じます。両イベントは、メタバース・XRといった最先端の技術に関わる組織や個人が「なんば」に集い、ともにより良い社会を創造することをめざす貴重な機会となるでしょう。南海グループでは、本年 2 月、株式会社Meta Osaka様とともに「デジタルエンターテインメントシティ構想NAMBA」を発表し、次世代の都市体験を創出するWEB3.0 時代のまちづくりに着手いたしました。両イベントを契機として、世界に誇るデジタルエンターテインメントシティ=なんばの実現に向けて、より多くの皆さまと取り組めることを楽しみにしております。

**e スタジアム株式会社**

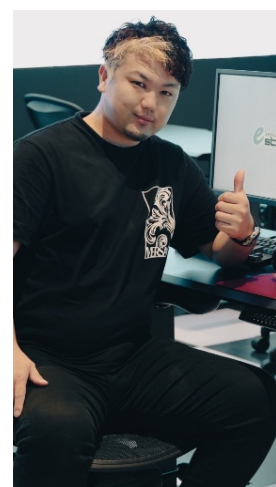
南海電鉄グループ e スタジアム株式会社は、e スポーツを活用した、社会課題の解決に尽力しています。e スポーツ施設運営事業(※パートナー施設含む)においては、開業当初より「健全な e スポーツ施設」として、近隣の学校や自治体、企業とも積極的な連携を図り、地域全体で e スポーツを「健全な文化」として醸成していくため、当事業を推進いたします。

〈e スタジアム株式会社 代表取締役 池田 浩士よりコメント〉

「デジタルエンターテインメントシティ構想 NAMBA」は、単なる技術導入ではなく、都市の価値を再構築する“まちづくり戦略”だと考えています。私たち e スタジアムは、e スポーツとエンタメ、そしてテクノロジーの融合を通じて、地域の課題解決・観光資源化・教育支援を同時に実現する取り組みを推進してまいりました。

今回、XR や AI などの先端技術を活用した都市体験をなんばの街に実装していくにあたり、都市そのものがエンターテインメントであり、学びや社会参画のフィールドであるという“新しい都市の意味”を提示していきたいと考えています。

私たちは南海電鉄グループと優秀なパートナー企業、そしてこのまちとともに、“なんば”を世界を代表する XR 特区に成長させ、世界中から企業、クリエイター、ファンが集まるデジタルエンターテインメントの拠点都市として確立させる未来を見据えています。そのためにも、AI エージェントによる駅での社会課題解決や、通天閣からなんばに至るまでの XR 演出、XR 教育の仕組みづくりなど、持続可能なビジネスと社会価値の両立を実装段階から意識した取り組みを行ってまいります。



株式会社Meta Osaka

『大阪を世界一おもろい都市(まち)に』をミッションとして、デジタル技術を活用したオリジナルメタバースの開発や、WEB3.0などのインターネットビジネスによるサービス提供を行っています。なんばパークス内「e スタジアム なんば本店」の「メタバースサロン」の企画運営や、全国で累計4万人を動員した「こども万博」を主催。デジタル技術を通じて地方自治体や地域の課題解決、経済活性化に取り組んでいます。

〈株式会社Meta Osaka 代表取締役 毛利 英昭 様よりコメント〉

Meta Osaka は大阪発のメタバース総合商社として、これまで地域密着型でリアルとデジタルを組み合わせたデジタルツインのイベント企画・運営を行ってまいりました。5月のEXPO2025 大阪・関西万博では「メタバース・XR・AI アワード」を開催し、5510人の方にご来場いただき、メタバース・XR技術への高い関心を実感しました。今回、Metaverse Japan SummitとXR Kaigiの関西誘致を担当し、南海電鉄グループとの連携により、なんばをXR企業・クリエイター・ファンが集まる聖地として発展させていきます。人口減少や少子高齢化が進む地方こそ、デジタル技術が地域課題解決の鍵となります。交通インフラを持つ南海電鉄グループとの協働によりデジタル技術を活用した街づくりに直接アプローチし、全国に向けたモデルケースを大阪から創造してまいります。



一般社団法人Metaverse Japan

一般社団法人Metaverse Japan(MVJ)は、2022年3月に設立されたメタバース技術の発展と社会実装を推進する業界団体です。代表理事の長田新子氏、馬淵邦美氏のもと、企業や研究機関、自治体などが連携し、メタバース技術を活用した社会課題の解決や新たな価値創造に取り組んでいます。

〈一般社団法人Metaverse Japan 代表理事 長田 新子 様よりコメント〉

「METAVERSE JAPAN SUMMIT 2025」が関西で初開催されることを嬉しく思います。南海グループが拠点を構える“なんば”で、“デジタルエンターテインメントシティ構想 NAMBA”が本格始動するタイミングで、業界の発展に関心を寄せる多くのメンバーが一堂に会します。今回のテーマ「Beyond Reality: 都市・エンターテインメント・未来社会の共創」を通じ、革新的な未来社会を共創するための重要なステップになると確信しています。共催のMeta Osakaとともに、大阪は万博をはじめとする数々の社会的挑戦が行われている地域であり、このイベントを通じて次世代の都市体験を共に創造することに大きな期待を寄せています。南海電鉄・e スタジアムが関西特別パートナーとして参画し、この素晴らしい取り組みをさらに盛り上げていくことを楽しみにしています。



XR Kaigi実行委員会 / 株式会社Mogura

株式会社Moguraは、VR、AR、MR、メタバースなどのXR技術に特化した企業で、専門メディア「Mogura VR」の運営やコンサルティング、XR関連イベントを提供しています。「豊かな体験を世界中に」をミッションのもと、社会貢献活動にも積極的に取り組み、技術普及を推進しています。

〈株式会社Mogura 代表取締役CEO 久保田 瞬 様よりコメント〉

このたび南海電鉄様に関西特別パートナーとしてご一緒いただけることを大変嬉しく存じます。XR Kaigi Hub in 大阪は、XR・メタバース・AI 分野における最新動向と実践事例を共有し、業界内外の企業・自治体・教育機関・クリエイターが交わる場です。本イベントを通じて、関西におけるイノベーションや新規事業、協業の種を育ててまいります。



以上